

会 議 録

会議の名称	第2回那珂川町国民健康保険運営協議会		
開催日時	平成31年1月17日(木) 19:00~20:00	開催場所	保健センター2階健康増進室
出席者	1. 委員 津留委員、吉野委員、小塚委員、大神委員、高橋委員 黒崎委員、仲吉委員、重松委員、野尻委員 2. 執行機関(事務局) 伊藤課長、日下部課長、古川係長、玉水係長、 西川、村田 3. その他		
配布資料	平成29年度国保特別会計決算について、平成29年度特定健診の結果・今後の取り組みについて、国保税改正について		
議題及び審議の内容		記録者：村田	
1. 会長あいさつ 2. 報告事項 (1) 平成29年度国民健康保険事業特別会計決算について 事務局から説明。 【質疑】 特になし 【異議】 特になし (2) 平成29年度特定健診の結果・今後の取り組みについて 事務局から説明。 【質疑】 委 員：予約なし健診は、いきなり飛び込んでよいということでしょうか。 事 務 局：住民全員が対象になるのではなく、健診日の一週間前を目途に、事前にハガキを対象となる方約500名に送付をさせていただいております。事前のハガキを受け取った方、またその家族が予約なし健診の対象となっております。 委 員：健診の電話予約について、8時半から17時の受付時間はどうかにならないでしょうか。			

事務局：電話予約については、平日の9時から17時という制約がありご迷惑をおかけしております。併せて、24時間予約可能なインターネット予約も今年度から受け付けておりまして、簡単な方法で予約できるように、現在仕組みを整えているところです。

【異議】

特になし

(3) 那珂川市国民健康保険税税額改正について
事務局から説明。

【質疑】

委員：今後、団塊世代の国保加入者が増えていくかと思いますが、赤字が翌年翌年と繰り越されている中で、平成31年度は税率の改正がないにしても、数年先にこれまでの赤字がそういった方たちに押し付けられていく状況はどのように考えていますでしょうか。

事務局：長期的な展望としましては、不十分であると思われませんが、赤字解消計画につきましては、まずはH30年度のものを作るということでご理解いただきたいと思えます。

ご質問にあった赤字に関しましては、年度ごとに一般会計から赤字補填としていただいておりますので、数年先までこれまでの赤字が借金として残るといった考え方ではございません。

委員：赤字解消計画の税率を数年かけて試算をしていくことについて、数年とは3、4年のことでしょうか。

事務局：複数年で考えていくというところまでは想定しておりますが、H30年度以降の決算状況や納付金算定情報を基に、近隣市町村の状況も踏まえながら、しっかりと検討していきたいと考えています。

委員：県下での保険税率は将来的に一律になるのでしょうか。

事務局：将来的に福岡県での統一という考えはありますが、現段階では、その方向性は大きくは出ておらず、まずは赤字解消に向けた標準保険料率ということで取り組んでいます。

委員：赤字解消に向けて、いくつかの方法で取り組んでいるかと思いますが、国民健康保険税の収納率の向上について目標収納率があるのか、また、県からの補助金はこういったものがあるのかを教えてください

すでしょうか。

事務局：平成29年度の収納率については93.62%と前年度に比べ上がっており、今年度においても、さらに高い収納率を目標にしていくと収納担当と話を進めているところでもあります。

県の補助金については、保険者努力支援制度というものがあり、簡単に説明すると、収納率向上への取組みや医療費適正化に向けた取組み、健康課が行っている重症化予防への取組みなどの、取組みの度合いにより、県からの補助金の配分が決まっている制度があります。多くの取組み、進んだ取組みを行っている自治体が多く補助金を配分されるようになってきています。那珂川市としても関係課と連携しながら、新しい取組みを進め、補助金を上げる努力をしていきたいと考えています。

【異議】

特になし

(4) その他

【質疑】

委員：国民健康保険税の課税誤りについて、追加徴収の人で一番大きい税額はどのくらいだったのでしょうか。併せて、その方はすぐに納付することができたのでしょうか。

事務局：追加徴収をお願いした中で、一番大きい税額は約27万円の世帯がいらっしゃいます。那珂川市としても、ご訪問とお詫びをさせていただきます。最終的には納付についてご理解いただき、複数回に分けて納付することになりました。

【異議】

特になし

3. その他

特になし

その他委員から

特になし